



まわしよみ新聞



Vol.4

日々おごおり。

地域おこし協力隊が日々であう
おごおりの魅力的なひと、コト。
毎月ひとつ、紹介します。

今回の担当は宮本です。



着目した記事で作る「新聞」

気になる記事を切り抜き、模造紙に貼り付けて壁新聞をつくる「まわしよみ新聞」。切り貼りというアナログな作業と、選んだ記事をトランプの持ち札のように出し、仲間と紹介し合う楽しさがウケて、全国的に広まっています。

隔月で、「まわしよみ新聞」のイベントを開催するポピーの里あじさか館の原口はるみさんにお話を伺いました。

「新聞を読む」というよりは「めくる」感覚でいいんです。パラパラと新聞をめくると、その折々で目に入ってくるものが違ってくるから不思議。気になった記事で自分の気持ちの状態で、向いている方向性まで見えてくるからおもしろい」と、はるみさん。新聞が苦手な私に実際に参加してみると、確かに気になる項目は、自然に目に飛び込んでくるもので、それを人に伝えて「へえー」と言ってもらう嬉しさは格別です。それに世代を超えて楽しめるのも魅力。小学5年生の参加者は、「eスポーツ」の記事を説明し、学校でも話題になっていると話をする、大人が声を上げて驚く場面も。

はるみさんは、「デジタルな時代に逆行しているけど、だからこそその魅力がある」と言います。調べたいことをインターネットで検索するのもいいですが、雑多にさまざまな記事が溢れる新聞だからこそ、心のアンテナが反応する記事に出合えることもあります。その面白さを地域の人たちと共有してみませんか。

次回開催予定

日時 11月25日(日)
午後2時～4時
会場 ポピーの里
あじさか館
参加費 100円
菓子&
お茶代



ちなみに最近気になった小郡連の記事。新聞はまちの魅力をさらに知ることができる大事なツールになっています。